青年国際交流事業の事後活動組織

○ 参加青年の大部分が事後活動組織に参加し、活発に活動。

○ 世界５７か国に組織されるなど、世界的な人的ネットワークを形成・発展。
毎年各国が持ち回りで主催する世界大会等には世界各国から多数の青年が参加。

○ ネットワークを活かし、大規模災害時の支援、途上国教育支援、国際交流活動
（日本での異文化理解促進、海外での日本文化紹介 等）などの社会貢献活動を積極的に実施。

東南アジア青年の船

ASEAN10か国全てに設立

外国人事業参加人数累計
９１８２人

国際的組織：
SSEAYP International
毎年１回総会を開催

2012年は日本で開催。外国人約350人、日本人約230人が参加。（自己負担）

日本青年国際交流機構（IYEO）

会員数　約　１５５００人
（既参加日本青年：約１５６００人）

全国４７都道府県に支部

各国事後活動組織と連携

ＫＩＹＥＯ

参加韓国青年数の累計：８２３人
毎年、日韓交流連絡会議を開催。

世界青年の船

世界４５か国で組織

外国人事業参加人数累計
：３６３９人

組織がある国の参加人数：３４０５人

国際的組織：ＳＷＹＡＡ
毎年１回国際大会を開催

2011年メキシコ：約70人（15か国）
2010年エジプト：約180人（24か国）
（いずれも自己負担）

世界青年の船事後活動組織45か国の内訳
（アジア）バングラデシュ、インド、スリランカ　（大洋州）オーストラリア、フィジー、ニュージーランド、ソロモン、トンガ、バヌアツ
（中近東）バーレーン、オマーン、カタール、トルコ、アラブ首長国連邦、イエメン　（北米）カナダ、米国
（中南米）ブラジル、チリ、コロンビア、コスタリカ、ドミニカ共和国、エクアドル、メキシコ、パラグアイ、ペルー、ウルグアイ、ベネズエラ
（欧州）ベルギー、フィンランド、ギリシャ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ロシア、スペイン、スウェーデン、英国
（アフリカ）カメルーン、エジプト、ケニア、モーリシャス、セーシェル、南アフリカ共和国、タンザニア

資料１８